

民間発注で全国2例目

1 DAY PAVE 砕石事業所に

大阪

大阪府高槻市内の砕石事業所で11日、民間発注で全国2例目となる1 DAY PAVE (早期交通開放型コンクリート舗装)の施工を行った。大阪兵庫生コンクリート工業組合(小林俊雄理事長)と住友大阪セメントが計画から施工まで全面的にバックアップした。中央砕石(山本和成

社長)の発注で、大型ダンプトラックが毎日数百台出入りするトラックスケール(台費)への進入車路に施工された。同社は以前から舗装のコンクリート化を検討していたが、通常のコンクリート舗装では一般に1~3週間の養生期間を取らなければならず、その間、出荷業務に支障が出る

として採用に踏み切れなかった。そうした中、1日養生で交通開放できる1 DAY PAVE が実用化されたことを聞き付け、同工組に相談、今回の施工に至った。施工は鹿島道路、大阪広域生コンクリート協同組合に所属する藤原生コン(茨木市)が生コンを供給した。

砕石事業所が休止する10~12日の3連休を利用して施工が行われた。10日に掘削、路盤調整、鉄網敷設、11日にコンクリート工事を実施した。施工面積は153㎡、版厚が25cmで、生コンの使用量は約40㎥だった。同工組の藤本泰久常務理事(全生工組連技術委員長)、野呂光宣常務理

事、大阪広域協組の藤中昌則副理事長らが施工に立ち会った。

生コンの使用材料は、1 DAY PAVE 基本の早強ポルトラン



ほぼ半日で打込み・仕上げを終えた

ドセメント(住友大阪セメント)と高性能AE減水剤。骨材は細骨材が同社製の砕砂と城陽産の山砂の混合、粗骨材が同社製の砕石(1505と2010の混合)を使った。配合は、コンクリートの強度発現が遅れる冬季であることを考慮し、水セメント比を1 DAY PAVE としては最小の32%まで落とした。目標性状はスランプが18cm±2.5cm、空気量が4.5%±1.5%、曲げ強度が材齢1日で3.5N/mm以上と設定した。コンクリートの打込

みはホッパー(0.5m)とショベルカーを併用し、敷均しはフィニッシャを使わず、人力で仕上げた。午前8時30分から始まった工事はほぼ半日で終わった。目地切り後、ジェットヒーターによる吸熱養生を一晚行った。1日材齢は5N/mmを超え、13日に交通開放を行った。今回の施工は、1 DAY PAVE の用途展開について新たな方向性を示した格好だ。同工組ではこれを弾みに、民間事業所での利用拡大につながることを期待している。